

春日中校区式15年子育てサポート

(平成25年度版)

年齢

15才の目標

志をもち
意欲的に学び
感謝の心と自立心をもった
心身ともにたくましい子ども

すてきな夢が
ふくらみます



中学校受験期

中学校前期



いっぱい
ほめられて

小学校後期



小学校前期

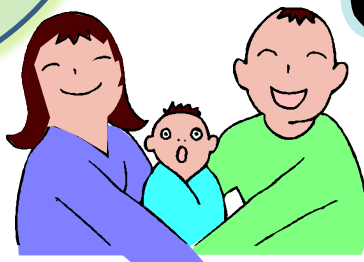
子どもは一人一人成長の
スピードが異なります。
今、この子に必要なことは何でしょうか。
今、私が親としてしなければならないことは
何でしょうか。
あなたのお子さんが輝くために
是非、この扉を開いて下さい。

いっぱい
愛されて

幼児期

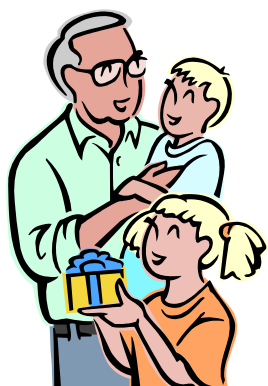


乳幼児期



環境

15年子育てサポートについて



春日中学校区(春日小・須玖小・春日中)では、0歳から中学校を卒業するまでの15年間の子育てをサポートするためにこの資料を作成しました。子どもたちが愛され、ほめられ、そして、自分の夢を抱き、生き生きと育ってくれることを願っています。

この資料は、0歳から15歳までを6つの成長期に分けて、それぞれの時期における子どもの思いや親が責任をもって関わらなければならない基本的なことを記すとともに、親御さんの悩みにもお答えできるように内容を構成しています。

どうか必要などころに目を通していただき、子育てに役立てていただければ幸いです。

小中一貫共育を通して

私たちは、小学校・中学校の9年間を通して、子どもたちがいろいろな問題場面に出くわしたとき、よりよい判断・行動ができる力(ライフスキル)を身につけていきたい、と考えています。

ライフスキルプログラム(ライオンズ・クエスト)を活用した学習の推進

ライフスキル学習では、次のスキルを学習します。

- ①自己規律、責任感、自信の形成
- ②他者との効果的なコミュニケーション
- ③感情や態度の上手な表現
- ④家族や友人との好ましい関係の強化
- ⑤問題解決や健全な意志決定
- ⑥仲間からのよくない誘いや薬物のすすめの拒絶
- ⑦批判的思考力
- ⑧目標設定と計画的な実施
- ⑨自分の力を他者のため、社会のために生かす

これらの学習を通して、「自己認識力」「自己コントロール能力」「社会認識力」「対人関係力」を高めます。



春日中学校校則

中学校の校則を知って子育てをされると、お子さんが中学校に入学してからの戸惑いが軽減されます。小学校生活とも関連のあるものだけ紹介します。

- ◇下校時の寄り道や買い食いは禁止する。
- ◇欠席や遅刻をする場合は、必ず保護者から連絡してもらう。
- ◇貴重品(携帯電話・時計を含む)、余分の金銭、その他学用品以外の不要なものは持ってこない。
- ◇指輪、ピアス、ネックレス等の所持着用は禁止。
- ◇物品や金銭貸し借りはしない。
- ◇眉そり・眉ぬき・そりこみ・パーマ・染色・整髪料など、自然の状態を損なうようなことはしない。



15年共育コミュニティプラン

春訓 (しゅんくん)

- 一、私は自分の夢と目標に向かって努力をします。
- 一、私はだれとでも進んで挨拶をします。
- 一、私は親、先生を敬い、感謝の心を持ちます。
- 一、私は学校や社会のルールを守り、自他の命を大切にします。

私たちは、子どもたちが大人になっていく上で大切な生き方を春訓として表し、子どもたちの心の中に残していこうと思っています。

15年間を通して目指す生き方

就学前サポート(0歳～5歳)

小中連携・一貫による教育(6歳～15歳)

- 1 幼稚園・保育園・保育所・学校によるサポート
 - ・入園・入所前保護者の相談会
 - ・幼稚園・保育園・保育所・学校の行事体験参加
 - ・学校授業参観体験
- 2 PTAによるサポート
 - ・PTA行事の案内
 - ・PTA便りの配布
- 3 自治会によるサポート
 - ・子育てサロン
 - ・心を豊かにする地域環境

【自ら学ぶ力】(知)

- ・子どもたちの話し合いを生かした授業
- ・「めあて」と「まとめ」のある授業
- ・学習規律の統一
- ・家庭学習の習慣化
- ・中1ギャップ解消に向けた小中交流授業

【自ら関わる力】(徳)

- ・いつでも・どこでも・自分から挨拶
- ・読書の推進
- ・黙々掃除の実施

ライフスキル学習 (よりよい判断・行動力)

【自ら体をつくる力】(体)

- ・運動の日常化
- ・子どもが作るお弁当の実施
- ・早寝・早起き・朝ご飯

【自ら命を守る力】(命)

- ・安全マップの作成
- ・静かな廊下歩行の徹底
- ・安全パトロール(地域・PTA)
- ・登下校指導(地域・PTA)

就学前の幼児の基本的な生活習慣の形成は、子どもの学校生活に大きな影響を与えます。そこで、私たちの「共育コミュニティ」では、就学前の子育てサポートを行います。

<春日小コミュニティ・スクール>
地域を愛し、たくましく生き抜く子どもの育成



<春日中コミュニティ・スクール>
志をもち意欲的に学び、感謝の心と自立心をもった心身ともに逞しい生徒の育成



<須玖小コミュニティ・スクール>
思いやりの心を持ち、自分の可能性を信じ、物事を進んで行う子どもの育成



『早寝・早起き・朝ご飯』は、生活づくりの基盤です

0才から2才 (乳幼児期)

生まれてから3才になるまでの乳幼児期は、最も成長が著しい時期です。言葉を獲得し、覚えて使おうとする時期でもあり、1歳6ヶ月から2歳の頃、子どもは人として生きていくための一歩を踏み出します。また、何でも自分でしたがる反面、甘えや依存心が強い時期でもあります。



	0歳	1歳	2歳
愛着形成 (子どもの全てを受け入れて…タッチケア、目を見て話す等)			
食事	<p>好き嫌いなく何でも食べることができる。</p> <p>母乳やミルクは、だっこして、目を見てほほえみながら飲ませましょう。離乳食は段階を追って進め、できるだけ手作りのものを食べさせましょう。</p>	<p>栄養バランスを考えて、朝昼晩、決まった時間に食べさせましょう。</p>	<p>かむ力を養う。</p> <p>かむ力がないと、あごの成長や歯並びの発育不全の原因となります。やわらかいものばかり食べさせないようにしましょう。</p>
排泄	<p>おむつが濡れていたらすぐに替えましょう。語りかけながら替えてあげるといいですね。</p>	<p>排泄感覚を把握し、無理のないように便器に誘うようにしましょう。また、排泄を知らせた時にはしっかりとほめましょう。</p>	<p>排泄することをしぐさや表情、言葉で知らせる。</p> <p>おねしょは当たり前。</p> <p>おむつをして寝ることができるのであればそれでよく、親が注意すると子どもが神経質になるので気をつけましょう。</p>
睡眠	<p>少しずつ寝る時間が定まってくる。</p> <p>寝室は、薄暗い静かな環境にしてぐっすり眠れるようにしましょう。</p> 	<p>生活リズムの基本となる睡眠時間が十分にとれるよう、昼間、元気に遊ばせ、夜は早寝の習慣をつけさせましょう。</p>	<p>子どもの寝つきのスタイルは千差万別で、指しゃぶりをしているも本人が安心をしてねむれるのであれば、その気持ちを大切にしましょう。</p> 

Q&A

Q1 歯みがきはいつから始めたらいいのでしょうか？

A 1歳くらいになると親が歯みがきをしていると、子どもも歯ブラシを使いたがるようになってきます。もちろん、まだ自分できちんとみがけるわけではありません。一通りまねをさせた後、仕上げみがきをしてあげましょう。食後と寝る前、忘れずにみがくよう、この時期から習慣づけましょう。

Q2 おやつは食べさせたほうがいいのでしょうか？

A こどもの消化機能は未熟で、3度の食事だけでは十分な栄養を満たせません。糖分を控えたお菓子、果物、牛乳など時間を決めて与えましょう。塩分、油分が多く、エネルギーの高いものは避けましょう。

Q3 一人で排泄をさせるにはどうしたらいいですか？

A おしっこやうんちの前に子どもが動作やことばで知らせるようになってきたら、トイレトレーニングのスタートです。また、失敗してもあせりは禁物です。うまくできた時には、ほめて自信をつけ、気長に何度も挑戦していくことがポイントです。

『早寝・早起き・朝ご飯』は、生活づくりの基盤です

3才から5才 (幼児期)



就学前の幼児期は、言葉と行動が一致する時期です。集団の約束やルールを理解し始め、徐々に守れるようになります。子どもたちは家庭での愛情を「安全基地」として、積極的に行動し、友だちと協力しグループで行動できるようになります。依存するだけでなく、自分でできることも増えてきます。身のまわりの事を自分でしようとし自己主張し始め一通りできるようになりますが、大人の手本が必要な時期です。

そのために家庭では・・・

- できるだけ8時までには寝られるように環境を整える。
- 生活習慣を根気強く分かるように教え、見守り励まし、できたらほめる。食事(時間、内容、態度)、睡眠(早寝、早起き)など決まりある生活リズムを家族で整える。
- 目線を合わせて話をする。
- 親が、進んで「おはよう・ありがとう・ごめんね」等の挨拶は手本を見せる。
- ゲームやテレビとの接触時間を短くし、読み聞かせなどで絵本と接する機会を多くする。

- 元気に楽しく生活し、友だちと仲良く遊ぶことができる。
- 早寝・早起き・朝ごはんが身についている。
- 洗顔、歯みがき、排便など清潔習慣が身についている。
- 食事、衣服の着脱など自分のことは自分でできる。
- 「おはよう・ありがとう・ごめんね」がきちんとと言える。
- 思ったことや感じたことを言葉で伝え、友だちの話を聞くことができる。

こんな子に・・・



そのために保育所・保育園・幼稚園では・・・

- 衣服の着脱、食事、清潔など生活の中で繰り返えし、年齢に応じた方法やマナーを知らせる。
- 集団の一員として役立つ喜びがもてるようにする。
- 子どもの話を受容し、自分の思いを言葉で伝えられるようにする。
- 友だちとの関わり方やルールの必要性を生活や遊びの中で知らせる。

Q&A

Q1 生活リズムを安定させるための方法は？

- A 規則正しい生活習慣づくりのために、根気よく働きかけましょう。
- 「できるだけ夜8時までには寝る」という習慣を身につけ、朝も決まった時間に起きましょう。
- 生活リズムが身につくまで根気強く見守りましょう。(大人の生活時間にあわせない。)
 - 「①早く起きる②余裕をもって朝食を食べる③活発に体を動かし心地よい疲れを感じる④早めの夕食をとる⑥風呂にゆっくり入る⑥夜8時までには布団に入る」を繰り返す。
 - 早く寝るための環境をつくりましょう。
 - 寝る前約1時間はテレビを見たり、ゲームをしたりしない。寝る場所をできるだけ静かな所にする。
 - 寝る前には、必ず歯みがきをしたり本を読んだりという、決まった生活パターンを決める。

Q2 小学校に入学するまでに、気をつけることは？

- A 「基本的な生活習慣」や「学ぶ」ということは、幼児期から始まっています。日頃からこんなことを大切にしましょう。
- 「自分の名前が読める」「10までの数を数えることができる」ようにしておきましょう。
 - 自分の身の回りのことは自分でできるようにしておきましょう。見本を見せて、子ども自らできるようにしましょう。
 - お子さんが自分の思いを正確に伝えられるように、最後まで話を聞きましょう。
 - 「待つこと」「我慢すること」「思いやりを持つこと」を意識して関わっていきましょう。
 - 文字を無理に教えるのではなく、体を動かす多様な遊びや生活の中で文字や数に関心を持たせましょう。
 - また、ジャンプやブランコなど感覚を鍛える多様な遊びを取り入れると、楽しみながら体力や運動神経を向上させる事ができます。

6才から8才 (小学1~3年)



そのために家庭では…

- できるだけ9時までには寝られる生活のリズム(夕食や入浴)をつくる。
- 親が、進んで「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」を言って手本を見せる。
- 学校や友だちの話をたくさん聞いてあげ、できたことや頑張ったことをしっかりほめてあげる。
- 親が、必ず宿題や次の日の準備の確認をする。

小学校低学年は、学習や人間関係づくりにおいて、これからの学校生活・社会生活の基盤をつくる大切な時期です。特に、小学校入学直後の子どもは、小学校生活への期待と不安でいっぱいです。嬉しいことや楽しいことは素直に表現できますが、困ったことはなかなか自分から言えません。

- 早寝・早起き・朝ご飯がしっかり身についている。
- 「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」をきちんと言うことができる。
- 学校や友だちのことをたくさん話すことができる。
- 宿題は、決まった時間に決まった場所ですることができる。
- 次の日の学習の準備を自分ですることができる。

こんな子に…



そのために学校では…

- 友だちがたくさんできるように、友だちとの上手な関わり方を教える。
- 自分の思いや考えをしっかりと表現(話す・書く)する力を高める。
- 体験的な学習を多くし、勉強が楽しいと思えるような授業を工夫する。
- 結果だけでなく、一人一人の頑張りを賞賛する。

Q&A

Q1 学校の宿題に、親はどう関わればいいのか？

- A 早い段階で子どもの宿題から目を離してしまうと、「宿題をしない」「いい加減な取組をする」といった好ましくない習慣が身についてしまうおそれがあります。
- 毎日、同じ時刻に同じ場所(机)で学習することを繰り返させましょう。
 - 決められた時間内に終わられるように努力させ、学習後の楽しみを奪わないようにしましょう。
 - 宿題が終わったら必ず目を通し、頑張りをほめたり励ましたりするとともに、間違いは一緒にやり直すようにしてあげましょう。
 - 「家庭学習の進め方」(春日中校区運営協議会作成)を参考に、取り組ませましょう。

Q2 テレビやゲームではなく、友だちとふれ合って遊ばせたいんですが…？

- A 地域の自治会に子ども会育成会があり、いろんな活動に取り組んでいます。ぜひ入会して同じ地域の子どもたちとふれ合わせましょう。また、春日小学校にも須玖小学校にもアンビシャス広場というものがあり、それぞれの広場で子どもたちがふれ合いながら楽しく活動しています。その概要を紹介しますので、積極的に参加しましょう。(詳しくは各小学校へお尋ねください)

【春日小学校アンビシャス広場】活動場所…昇町公民館、小倉公民館、春日小学校

土曜日の午後を中心に、公民館で卓球やグランドゴルフ、将棋や読書などをしたり、学校で、地域サークル「リリーズ」によるフラワーアレンジメントや夏休みのバスハイクなどの活動をしたりしています。

【すぐっこアンビシャス広場】活動場所…須玖南公民館、須玖小学校、市民農園

平日の夕方や土曜日に、学校や公民館などで、ソフトボールやビーチバレー、囲碁や将棋、野菜作りなどをしたり、夏休みには宗像の海で地引き網に挑戦したりしています。

9才から11才 (小学4～6年)

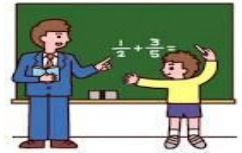


そのために家庭では…

- 遊びの場所や内容について、安全に過ごすためのルールや約束を決める。
- 学校や友だちの話をたくさん聞き、子どもの友人関係や行動範囲の把握に努める。
- 学習するときは、時間を決めることや、テレビを消して学習に集中できるようにすることなど、学習の環境を整える。(詳しくは「家庭学習の進め方」「自学の進め方」参照。)

小学校高学年は、公道で自転車に乗ることができるようになり、行動範囲が広がったり、できること・やりたいことが増えたりしてくる時期です。一方、友だちとの関係で難しさを感じることも多くなります。中学校入学を迎える頃には、期待と不安で精神的に不安定になりがちです。

- 正しい自転車の乗り方など、安全に気を付けて自分の命を守ることができる。
- 友達や下級生に思いやりの心をもって、よりよい人間関係をつくることことができる。
- 宿題だけでなく、自分で計画を立てたり内容を考えたりして、自主的に学習を進めることことができる。
- 自分の役割に責任をもつことことができる。



そのために学校では…

- 4年生で、安全な自転車の乗り方について指導する。
- 友だちを思いやり協力し合うなど、自分や友だちを大切にする力を育てる。
- 自分で課題を見つける力や、問題を自力で解決したり協力して解決したりする力を育てるような授業を工夫する。

こんな子に…



Q&A

Q1 春日中学校区で実施している「弁当の日」とは、どんな取組ですか？

- A 子どもたちが自分で作った弁当を学校に持ってくる日です。
子どもたちは、自分でできる範囲で、自分のお弁当の計画を立てます。そして、お家の方と一緒に作ったり自分一人で作ったりと、何らかの形でお弁当づくりに関わります。子どもたちは、お弁当づくりを通して、家族との関わりを深めたり食への関心を高めたりしていきます。
楽しく、心が温まるのが私たちの「お弁当の日」です。

Q2 インターネットや携帯電話(スマホ)を使わせるときに気を付けることは？

- A 子どもと話し合っ、ルールを決めることが大切です。守れないときは、使うのを中止(禁止)しましょう。
次のことは、必ず守るようにしましょう。
- ・携帯(スマホ)は夜は親が預かる。
 - ・人を傷付けるようなこと、直接話せないようなことはメールに書かない。
 - ・メールを通して、自分や友達の名前や電話番号など個人情報を知らせない。

Q3 しつけのポイントは何か？

- A 良い行動は「ほめる」、良くない行動は「叱る」ことを、タイミングをのがさずに行いましょう。
○「叱る」と「おこる」は違います。感情的に「おこる」のではなく、納得できるように叱咤激励する気持ちが大切です。
○子どもは大人の言動をしっかり見えています。親が、恥ずかしくない言動をとることを心がけましょう。
○がまんを教えることも大切です。大人もがまんしているところを見せましょう。

12才から13才 (中学1~2年)



そのために家庭では...

- 規則正しい生活がおくれるように家族で話し合う。
- 学習環境(場所・時間)を整え、子どものがんばりを認めほめる。
- 毎朝子どもの顔を見て「からだと心」の健康観察(表情・声・姿勢など)をする。
- 親が子どもの一番身近な人生のお手本。親が頑張っている姿をみせる。

中学1, 2年生は、心もからだも大きく成長する時期です。環境の変化で生活リズムが乱れやすくなります。また、主体的に行動したり、心の通い合う友だちができたりする時でもあります。しかし、学習内容が難しくなったり、友人関係などで悩んだりすることも増えてきます。

○場面に応じたあいさつや正しい言葉づかい・服装ができる。

○授業や家庭学習に主体的に取り組むことができる。

○学級や学年の仲間と互いに高めあえる関係を築くことができる。

こんな子に...



そのために学校では...



○時間を守り、あいさつや掃除ができる、服装や公共マナーを守るなど基本的な生活が身につくようにする。

○子どもに考えさせる授業と教師が教える授業の改善に取り組む。

○お互いの違いを認め励まし合い、相手を思いやる豊かな心を育てる。

Q&A

Q1 子どもが反動的になり、家族との会話も少なくなっています。どうしたらいいのでしょうか？

A 自立への通過点と考えましょう。

○「今はそういう時期だから・・・」と大きく構えてお子さんの様子をしっかりと見ていきましょう。仲の良い友だちや先生と話ができているら大丈夫。それでも心配なときは、お子さんが興味をもっていること(音楽・スポーツなど)に話題をむけてみましょう。

○大人が「指示」的に話すと、お子さんにとっては耳が痛く、大人を批判したり話をしなくなったりします。大人の価値観を押しつけるのではなく、共感的な態度で話を聞くようにしましょう。

Q2 いじめや不登校など・・・心配です。どうしたらいいのでしょうか？

A からだや行動に表れる「SOSのサイン」を見逃さないようにしましょう。

○普段の様子と比べて「あれ？へんだな？」と思ったら、心の問題が背景にないか考えましょう。言葉で伝えられずに、からだのサインとして表れることもあります。

・からだ: 腹痛・めまい・頭痛・熱が出る・だるい など

・行動 : 眠れない・勉強が手につかない・過食や拒食・生活習慣の乱れ・イライラ など

○お子さんが不満や悲しみを繰り返したため込んで心を固く閉ざしてしまう前に、話す機会を逃さないようにしましょう。まずは耳を傾けましょう。

○中学校にはスクールカウンセラーもいます。家庭と学校が一緒になって考えていきましょう。

14才から15才 (中学3年生)



そのために家庭では…

- 日頃から子どもの興味に関心を持ち、親子で話題にする。
- 子どもが進路選択(受験校決定等)の十分な情報を持っているか確認し、最小限の助言をする。
- 進路実現に向けて自分の不十分な点に目を向けさせる。
- 大人が社会人としての手本を見せる。

受験を迎える中学3年生は、希望する高等学校や将来の夢を意識すると同時に、大きな不安やあせりをもつ時期です。また、具体的な高等学校や職業を考えている生徒もいる半面、自己理解が不十分であり、将来像をどのようにして決定していくのか分からずに、困っている生徒も多く存在します。

- 自分の良さを知り、職業観(社会性や経済性)と対応させながら、進路を選択できる。
- 受験や将来の目標をもち、困難を乗り越えながら、自ら学び続けることができる。
- 仲間とともに伸びようとする心や、地域や社会に自分のよさを生かそうとする心をもつことができる。

こんな子に…



そのために学校では…

- 進路学習を通して、職業観や情報収集の方法等を学ばせる。
- 受験に向けての目標、生き方の目標の設定方法を学ばせる。
- 生徒会活動やコミュニティ・スクールの活動で、思いやりや奉仕の心を培う。

Q&A

Q1 子どもの夢に対して、親はどのように関わっていけばいいのですか？

A 春日中では地域の方々に講師として、「生き方講演会」を実施しています。そこで、ご家庭でも保護者の進路に関する成功談や失敗談を話し、お子さんに将来の夢を持たせる場を設けるようにしましょう。また、お子さんの適性発見に努めたり、夢が実現できるかどうかを考えられるように支援しましょう。(最小限の助言)

Q2 受験する高校は、どの様に決めればいいのですか？

A 「入口より出口…この考えで高等学校を選択してみましょう！」
まず、高等学校卒業後(出口)、就職するのか、それとも大学等へ進学するのかを、お子さんと十分に話し合ってください。その結果、就職であれば、就職率や就職のための技能を確実に身に付けることができる高等学校の情報を収集し、受験校を決定しましょう。同様に、大学進学を希望するのであれば、大学進学率や学力を確実に伸ばすことができる高等学校の情報を収集し、受験校を決定しましょう。「合格することが目的(入口)」の目先のことにとらわれた進路選択を避け、常に「高等学校卒業後の自分はどうかありたいのか？」を意識した受験校決定を心掛けましょう。

Q3 学校行事や生徒会活動は、進路選択の役に立ちますか？

A 社会に貢献する態度や仲間といっしょに課題を解決していく力は、社会人として大切な力として求められています。この様な力は地域行事や生徒会活動に参加することによって身に付いていくものです。積極的な参加を勧めましょう。春日中では市のクリーン作戦参加を積極的に促しています。親子での参加はいかがでしょうか。

《子育てサポート案内》

子育てについて専門的なアドバイスがほしいときは…



○子育て支援センター 春日市須玖南2-120 TEL 092-584-1010

子育てに関する総合的な支援を行う場として「すくすくプラザ」内に開設されました。同プラザには「子育て支援センター」、「須玖保育所」、「須玖児童センター」の3施設が入り、市役所やいきいきプラザ、児童センター、保育所、NPOやボランティア団体と協力しながら、みなさんの子育ての支援を行っています。

○くれよんクラブ (福祉ぱれっと館) 春日市小倉3-242-1 TEL 092-575-1202

心身の発達に様々なつまずきのある乳幼児(0歳～就学前)を対象とし、親子通園を通して早期療育・指導を行うことで心身の発達を促し、社会生活、集団生活などへの適応能力の向上を図ります

○教育支援センター 春日市若葉台西7-28-1 TEL 092-517-0396

さまざまな事情により登校したくてもできない状態にある小中学生のための教室です。センターでのさまざまな活動や体験を通して学校復帰を目指す助言・指導を行なっています。

子育ての悩みや喜びを、共に語り合える場として…



○自治会「子育てサロン」

- | | | |
|------------|-----------------------------|------------------|
| (小倉区自治会) | 春日市小倉2-93-3 | TEL 092-573-8787 |
| ・「ハローキッズ」 | 開催日時: 毎週金曜日 10:30~12:00 | |
| (須玖南区自治会) | 春日市須玖南4-128 | TEL 092-582-8730 |
| ・「くれよんひろば」 | 開催日時: 毎月第1・3水曜日 11:00~12:00 | |
| (昇町地区自治会) | 春日市昇町5-122 | TEL 092-591-7221 |
| | ～平成26年度より活動予定～ | |
| (弥生区自治会) | 春日市弥生7-50 | TEL 092-582-8412 |
| | ～活動を検討中～ | |

いろいろな学びの場を知りたいとき…

入所・入園前の子どもやその親御さんを対象とした体験会を定期的に開いているところもあります。

○保育所・保育園・幼稚園 (春日中学校区内)

- | | | |
|-----------|------------------------|------------------|
| (須玖保育所) | 春日市須玖南2-120 (すくすくプラザ内) | TEL 092-501-3090 |
| (昇町保育所) | 春日市昇町3-159 | TEL 092-571-1915 |
| (春日中央保育園) | 春日市昇町6-109 | TEL 092-581-8640 |
| (森の木幼稚園) | 春日市昇町2-85 | TEL 092-592-3977 |

○小学校・中学校



- | | | |
|---------|--------------------------|------------------|
| (春日小学校) | 春日市昇町1-142 | TEL 092-581-0414 |
| ・主な行事 | 運動会(春) かすがっ子ワイワイまつり(11月) | |
| (須玖小学校) | 春日市須玖南2-71 | TEL 092-501-3103 |
| ・主な行事 | 運動会(春) すぐっこまつり(10月) | |
| (春日中学校) | 春日市須玖南2-172 | TEL 092-501-0461 |
| ・主な行事 | 体育会(春) 春日中ふれあいバザー(11月) | |